





現代社会に生きる私たちの生活は、お金をなかだちとして成り立っています。しかしこれほど私たちにとって必要で、身近な存在であるお金が、いつ誕生し、どのように社会や経済の発展に寄与してきたのかはあまり知られていません。

そこで、今回は「府立大阪博物館」の旧蔵貨幣資料を中心に、お金の歴史をふりかえる展示会を企画いたしました。府立大阪博物館は明治から大正時代にかけて大阪市内に開設されていた博物館であり、中国や日本をはじめ世界各国の貨幣が収集されていました。大阪府の誇る貨幣コレクションとすることができます。また大阪府内の発掘調査で出土した貨幣もあわせ展示しました。お金の生産や流通、お金に対する人々の意識の変化をうかがうことのできる重要な調査成果があげられているからです。

お金の世界をじっくりとご覧ください。

## 第1章

# お金の誕生

東アジアの国々は、いち早く貨幣制度が確立した中国の強い影響を強く受けて、独自の貨幣制度を確立していきました。中国と日本、朝鮮半島の代表的な貨幣を中心に、その様子を明らかにします。



中国の古代貨幣／中国／秦・前漢・新



和同開珎の銀銭と銅銭  
／日本／奈良時代

## 第2章

# 日本史の中のお金

発掘調査で出土した貨幣からは、昔の人々のお金に対する意識、社会の様子を知ることができます。古代、中世、近世の貨幣のあり方とその違いを考えます。

## 第3章

# お金に反映された 激動の世界

19世紀を中心とするヨーロッパの貨幣を中心に展示しています。自由主義と国民主義の中で再編成されるヨーロッパと、動揺するアジア・アメリカ世界の様子をうかがえます。



「太閤大判金」／日本  
／江戸時代

山口天又銀／日本／  
室町時代～江戸時代

## 第4章

# よみがえる 大阪博物館

総合博物館のはしりとも言える大阪博物館。明治から大正という社会の大きな変動期に開設した大阪博物館の意義と役割を紹介します。

## ～主な展示品～

- ◆小刀の形をした貨幣【刀幣】 戦国時代（紀元前5～紀元前3世紀）
- ◆わが国最古の鑄造貨幣【富本銭】：飛鳥時代（7世紀）
- ◆発掘調査で出土した多量の埋蔵銭：鎌倉～江戸時代（14～17世紀）
- ◆江戸時代の主要な金・銀・銅貨：江戸時代（17～19世紀）
- ◆ヨーロッパをはじめとする各国の大型銀貨：18～19世紀

出品総数 約1140件 25000点



在りし日の府立大阪博物館（大久保徹「最近之大阪市及其付近」1911年刊より）